



サークル紹介

問寒別手打ちそば愛好会

会長 三好 和夫さん

今回は「問寒別手打ちそば愛好会」を紹介させていただきます。会長である三好和夫さんにお話を伺いました。

Q 問寒別手打ちそば愛好会の基本的な活動内容を教えてください。

三好会長 問寒別手打ちそば愛好会は、会員10名が在籍しており、月2回、問寒別町民会館で活動しています。活動内容は、そば打ち担当者、その他の会員は試食担当者としてそれぞれ担当を決めて日々練習に励み、鍛錬してきたそば打ちの技術を披露する場として、段位認定大会にも挑戦しています。

Q 段位認定大会とは？

三好会長 大会の公式ルールに則して、そば打ちを披露し、初段から5段まである段位を取得するための全種協主催の大会です。剣道や柔道と同じように厳しく審査され、合格した人には段位が与えられます。問寒別手打ちそば愛好会には、3段が4人、2段が3人と段位取得者が多くいます。

Q 本格的に活動している問寒別手打ちそば愛好会ですが、初心者でも入会できるのでしょうか？

三好会長 会員はほとんどが、初心者からのスタートです。今年も初心者の方が2名入会されました。段位取得者の指導のもと初心者でもある程度のレベルでそばを打つことができます。

Q そば打ちのやりがいや楽しみとは？

三好会長 そば打ちは、その日の気温や湿度が関係し、微妙な水

の加減によって、できあがりには大きな差が生じてしまうほど、非常に奥が深いものです。だからこそ常に新しい発見が生まれ、そば打ちへの楽しみがどんどん大きくなります。また、打ちたてのそばを皆で談笑しながら食べるのは、できあがりに関係なく格別に楽しいものです。

Q 最後に読者に伝えたいことはありますか？

三好会長 新規入会者大歓迎です。段位取得に励みたい人、家族とそばを楽しむためにそばを打ちたい人、個人のスタイルに合わせて自由に参加していただけるサークルです。少しでも興味がありましたら、体験もできますので気軽に遊びに来てください。

興味のある方は 問寒別手打ちそば愛好会 事務局長 高橋 廣行さんまでお問い合わせください。(問寒別手打ちそば愛好会 事務局長 高橋 廣行さん 電話 6-5211)



ほろのべの裏窓

■8月19日に幌延地区、24日に問寒別地区で「地方創生懇談会」を開催し、約30名の町民の方にご参加いただきました。懇談会はグループワーク方式で行われ、町民の方それぞれが考える幌延町の課題やその解決策などたくさんの方の意見・提案をいただきました。様々な職種の方々が集まり議論するというのは、お互いに刺激があり、非常に活発な議論を展開することができると感じました。

■幌延町の人口減少問題や雇用問題などの課題やその解決策について、町民の方々が真剣に考え、議論している姿を見て、私はとても感動しました。自分の町の将来について真剣に考えるというのは当たり前のことなのかもしれませんが、そのことだと思っています。幌延町の将来を潤いあるものにしていくためには、幌延町民の皆さんの協力が不可欠です。意見交換の場や意見アンケート、その他にも町民の皆さんの声をお聴かせいただくための機会は今後も設けていきます。ぜひ、その際には参加していただき、幌延町のより良い将来を幌延町民全員で創っていきましょう。

【総務課企画振興グループ】

● 広報誌へのご意見、ご要望をお寄せください ●
総務課企画振興グループ 電話 5-1111 [内線]222・223・224
告知端末機 5-8812



わが家のエンジェル



我が家の長男優誠です。お姉ちゃんに遊んでもらうのがとっても大好き。毎日たくさん笑顔を皆を和ませてくれます。いつまでもその笑顔を忘れずに優しい子に育つてね。

鈴木 優誠くん
(平成26年12月2日生・1北2)

お父さん 真樹さん
お母さん 麻衣さん



わが家の第三子恵太です。名前はお兄ちゃん(長男)が決まりました。最近のブームはドライヤーで、音を聞くだけで手足をバタバタさせて喜びます。優しい子に育ってほしいです。

清水 恵太くん
(平成26年12月8日生・富岡1)

お父さん 和也さん
お母さん ひとみさん

ほろのべウォーキングラリーの目標歩数達成者を紹介します。

- ◎加藤 純さん (60万歩) 7月1日頃到達
- ◎岸 望さん (100万歩) 7月22日到着
- ◎笠松 政子さん (100万歩) 7月24日到着

目標歩数達成した方の報告をお待ちしています。(報告期限は11月20日です) これからは歩くのに適した季節になりますね。寝たきり予防はまず歩くことが老後に備えてしっかり体力をつけていきましょう。



男	1,262(-9)
女	1,203(±0)
計	2,465(-9)
世帯数	1,283(-3)

(平成27年7月末日現在)
※()内は前月比



この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。